

同友会 3つの目的

自助努力によって
学び合う

より良い会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

より良い経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

より良い経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

同友会は、経営者自身が自主的に会活動に参加し、自らの意欲と責任で学び、それを経営に創造的に活かし、企業の発展と経営者自身の自己成長、そして経営革新を図っていく会です。また、経営環境の改善課題も「学び合うこと」によって明確にすることが可能になります。運営については、会員の要求や意見を大切にし、民主的に決めていきます。



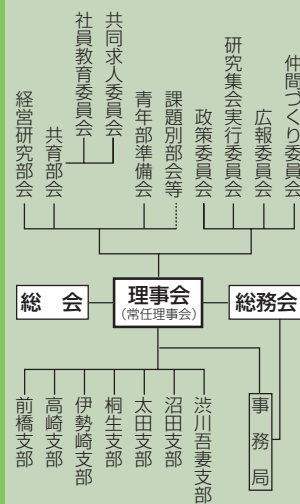
同友会の
特色

◆ 経営者として誰もが対等なおつき合いをしています。◆ 私たちは老若男女を問わず学び合う仲間です。◆ 社長・専務・常務・後継者と立場は様々です。◆ 自主的に参加し、民主的に運営しています。◆ いつも本音で語り合っています。◆ 自己変革をするには絶好の場です。◆ 本にないことをお互いの実体験から学んでいます。◆ 若手は後継者として必要な器を学び取っています。◆ 経営者特有の孤独感から解放されています。◆ あらゆる機関・政党から独立した自由な会です。◆ 私たちは県内 450 名が加盟する異業種の経営者団体です。

私たちと一緒に同友会で学びませんか？

中小企業の
期待に応える
多彩な活動

群馬同友会の組織機構



支部例会

経営者としての資質が高まる！



学ぶことを中心とした同友会の柱となる活動です。同友会では、聞きっぱなしになることを避けるため、報告者（講師）の報告を聞いた後、6～8人のグループに分かれてグループ討論を行います。これにより、参加者の悩みを引き出し、経営の本質に迫ることが可能になります。各支部では、魅力ある例会づくりに心を砕き、参加者の感動を得ています。また、例会後の懇親会は、本音を語り合うなくてはならない要素ともなっています。

経営指針づくり

経営戦略立案で会社の将来が見える！



自社の存在意義、経営姿勢・哲学がまさに問われる時代です。同友会は、経営指針書の作成を強力に推進し、不透明な時代に航海を続ける中小企業家の羅針盤をつくる応援をしています。

経営指針とは、理念・方針・計画からなり、「経営指針をつくる会」では、経営指針を作成し、実践を重ねてきた経営者と共に、あなたの会社の経営指針をつくり上げていきます。

社員教育

各種研修会で社員と経営者が共に育つ！



厳しい時代を生き抜き、確固たる基盤を築いて企業活動を続けている会社の共通点は、人材育成に成果を上げていることです。人材育成こそ企業発展の原動力であり、社員を育てる教育力格差が企業格差となって表れています。

同友会では、「経営者と社員が共に学び、共に育ち合う」をスローガンに、年間を通して各階層ごとの研修会を開催しています。2011年度は、延べ98社、総勢201名の社員が受講しました。

青年部

次世代のリーダーを育成！



後継者や若手経営者で構成され、世代共通の悩みや課題を出し合って人間的な成長を図る場としています。次世代のリーダーをめざす学び合いの活動です。

共同求人

共同の力で人材を確保！

ジョブカフェぐんまの協力を得て、「合同会社説明会」「大学等と企業との情報交換会」「同就職研究会」などの活動を展開しています。単なる採用活動だけにとどまらず、学校や地域の人々とのつながりを重視し、中小企業の魅力やそこで働くことの素晴らしさを伝えています。

共同求人活動は、地域に根ざす中小企業の総合的な運動でもあるのです。

全県行事

優れた経営者に学ぶ！



毎年4月に「定時総会」、11月に「経営研究集会」が開催され、県内の会員が一堂に会し、学び合い、交流しています。

政策提言

経営環境を改善したい！

2003年の全国総会で「中小企業を国民経済の豊かで健全な発展の中核と位置づける『中小企業憲章』の制定」を提唱してから7年に渡る運動が実を結び、2010年6月、政府は「中小企業憲章」を閣議決定、正式に制定しました。また、群馬県においても翌年、「群馬県中小企業憲章」を制定しました。今後は各市町村への運動の広がりが期待されます。

会員の声

株式会社 邦 和

専務取締役 丹羽 孝宜 氏



知り合いに誘われるがままに初めて例会に参加したのがキッカケでした。身近な経営者の悩みや経営目標などをテーマにした正に本

音の報告で、その後のグループ討論でも参加者全員が意見を出し、聞きっぱなしにしない点など、今まで参加していた団体や講演会とはまったく違うスタイルに驚きました。同友会は自社の課題をさらけ出せば出すほど得るものが多く、私が報告者を務めた際には様々な意見や提案をいただき、経営をしていく上で大きなプラスになりました。会員は建設業・製造業・農業・サービス業など多岐に渡っており、業種によって物事の捉え方は様々です。その違いが自らの発想の広がりにつながり、影響を与えてくれています。

パリッシュ出版株式会社

代表取締役 土屋 和子 氏



同友会へは会社設立1年目位に入会しました。会社経営など全く知らなかった私にとって、最初は正直みんな偉い方ばかりに見えて

気後れしていましたが、うち解けるまでさほど時間はかかりませんでした。今では言いたいことを言える数少ない場所であると皆さんに感謝しています。同友会の仲間たちと一緒に真剣に経営と向かい合わなかったら、今の会社はなかったと思っています。「なんのために経営をしているのか」を自分自身に問いかけ続けてきたことで、どんな難題にぶつかっても、どんな甘い誘惑があっても、経営理念に基づいた決断が即座にくださるようになりました。同友会で学び、まとめ上げた経営理念が、今も私自身の大きな支えになっています。

株式会社 大五建設

代表取締役 小井土 靖 氏



入会の翌年に全国大会へ誘われ、交通費も馬鹿にならないとは思いつつ、渋々参加しました。しかし、そこで目からウロコが落ちました。

「中小企業といえども全国にはこんなにも素晴らしい経営者がいるのか」と鳥肌が立ったのを思い出します。全国大会で発表する会社は、経営指針が確立され、それが社内に浸透して社風をつくり、結果、会社が伸びていることもその時に知りました。以来、同友会に積極的に参加し、経営者として必要な多くのことを学びました。今では新卒を毎年採用し、生きた経営指針として年度の経営計画を社員が中心となって作成しています。20数年前に同友会と出会えなかったら、この厳しい時代を乗り越えることはできなかったでしょう。

同友会の歴史

中小企業家同友会は、中小企業の根本的な利益を守るという立場から、1957年4月、日

本中小企業家同友会として東京に生まれました。その後、大阪、愛知、福岡、神奈川と各地に同友会が設立され、全国組織である中同協（中小企業家同友会全国協議会）が結成されました。

群馬同友会は、全国12番目の同友会として1973年11月、66名の会員からスタートし、現在約450名が加盟する経営者団体へと発展しています。

全国に広がる同友会のネットワーク

- ・全国47都道府県に約42,000名の会員！
- ・1,500名規模の全国交流会等を定期的開催
- ・全国には先進的な経営を実践する仲間がたくさん
- ・「中小企業家しんぶん」月3回発行



入会のご案内

会社を発展成長させたいと思っている経営者
会社経営の課題を抱え、解決方法に悩んでいる経営者
経営者としての資質を高めたいと思っている経営者
腹を割って話ができる経営者仲間がほしい経営者

中小企業の経営環境改善を推進していきたい経営者…など

企業規模・業種に関わりなく、中小企業の経営者及びそれに準ずる方で、会の趣旨に賛同される方なら、どなたでもご入会いただけます。所定の申込書に必要事項をご記入の上、入会金と会費3ヶ月分を添えて、事務局またはお知り合いの会員までお申し込みください。

◆入会金 20,000 円 ◆月会費 5,000 円

お申し込み・お問合せは



群馬中小企業家同友会事務局

群馬県前橋市西片貝町 1-300-5 ルアン第2ビル 4 F

TEL : 027-232-0001 FAX : 027-232-0666

URL <http://www.gunma.doyu.jp/> mail g-douyu@po.wind.ne.jp



群馬中小企業家同友会

学びと実践で

人が輝く

企業づくりを!!

